

セミナーのご案内

サイバー攻撃の現状と求められる施策 全3回シリーズ

主催 公益財団法人九州経済調査協会
EY新日本有限責任監査法人 Forensics事業部

● 日程

第1回:2018年 9月19日(水)

第2回:2018年10月10日(水)

第3回:2018年10月31日(水)

各回ともに18:30~20:00

(受付開始 18:15)

※全3回ともに、ご参加願います。

● 対象者

サイバーセキュリティ担当者

※同業他社、コンサルティングファーム
などの方のお申し込みはご遠慮下さい。

● 会場

電気ビル共創館BIZCOLI

(福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号)

電気ビル共創館3F)

● 定員

20名

(九経調賛助・BIZCOLI会員優先)

● 参加費

無料

● お申込み方法

九州経済調査協会ホームページ

(<http://www.kerc.or.jp/>)または、

FAX(092-721-4908)にてお申込み
ください。

● 主催

●公益財団法人九州経済調査協会

●EY新日本有限責任監査法人

Forensics事業部

昨今、標的型攻撃はもとより、ビジネスメール詐欺、仮想通貨のマイニングを狙った攻撃、インターネットと隔離された環境への攻撃など多種多様なサイバー攻撃が発生しています。これらサイバー攻撃が発生した場合、個人情報・機密情報の漏えいやシステム機能の停止などの被害が発生する可能性があります。

また、サイバー攻撃は、気付かれないように巧妙に仕組まれており、犯行手法も高度化されてきます。このため、サイバー攻撃に対応するためには、事前に管理策及び対応作成を整備し、常に見直していかなければなりません。

本セミナーでは、サイバー攻撃の現状から、それに対し求められる対策と対応への施策をご紹介しますので、皆さまの今後のご参考になれば幸いです。また、サイバー攻撃や事故対応で用いられる技術について、デモを通じて体験していただきます。

ご多用中とは存じますが、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム内容

9月19日(水)
18:30~20:00
(90分)

【第1回】サイバー攻撃の現状

- ▶ サイバー攻撃の動向
- ▶ サイバー攻撃が企業活動へ与えるインパクト
- ▶ サイバー攻撃のデモ

10月10日(水)
18:30~20:00
(90分)

【第2回】サイバー攻撃への対策

- ▶ 第1回の振り返り
- ▶ サイバー攻撃の現場でよく見る対策
- ▶ 昨今の攻撃の傾向と対策状況から見えてくる課題
- ▶ 課題解決へのアプローチ

10月31日(水)
18:30~20:00
(90分)

【第3回】事故対応

- ▶ 第2回の振り返り
- ▶ インシデント対応体制の構築
- ▶ デジタルフォレンジック
- ▶ Fast ForensicsとDeep Forensics
- ▶ ログ解析のアプローチ
- ▶ Fast Forensicsデモ



公益財団法人九州経済調査協会
KYUSHU ECONOMIC RESEARCH CENTER

BIZCOLI
BIZ COMMUNICATION LIBRARY



Building a better
working world

Forensic & Integrity services(Forensics)

約70カ国、4,500名超の専門家から構成される、不正調査、不正対策、コンプライアンス専門のサービスライン

不正調査

- ▶ 不正調査
- ▶ 第三者委員会等調査支援

コンプライアンスリスク対応支援

- ▶ グローバルコンプライアンス態勢構築
- ▶ 贈収賄リスク対応支援 ▶ 競争法リスク対応支援

海外子会社の不正対策支援

- ▶ 不正リスク評価支援
- ▶ モニタリング/改善対応支援

Technology Team

サイバーフォレンジック、eDiscovery支援、Forensic Data Analyticsの3サービスで構成されるチーム

Cyber Forensics

高度化するサイバー犯罪に対して、フォレンジックテクノロジーを活用し、事故発生時の原因究明や従来型のセキュリティ対策では発見できない脅威を早期に発見します。

- ▶ サイバーフォレンジック調査
- ▶ CSIRT構築支援
- ▶ Cybercrime Diagnostic
- ▶ IR/Forensic Training

eDiscovery支援

訴訟手続における電子証拠開示手続(eDiscovery)では専門のエンジニアの知見を用いることが不可欠で対応を誤ると莫大な課徴金が課される場合があります。FTDSに在籍する日本最高レベルの知見を有した専門家がeDiscoveryをサポートいたします。

- ▶ eDiscovery対応支援 ▶ メールモニタリング支援 ▶ 不正調査支援 ▶ 係争支援

Forensic Data Analytics

最新のテクノロジーを駆使し、多次元分析、統計的分析およびEY独自のスコアリング分析を実施することで、数百万件のデータ群から高リスクデータを発見するアプローチを以下の様な不正対応に適用させています。

- ▶ 不正調査 ▶ 会計不正
- ▶ コンプライアンスモニタリング
- ▶ サイバー犯罪対応

講師プロフィール



EY新日本有限責任監査法人
Forensics事業部

Technologyチームジャパンリーダー
杉山 一郎

国内大手のセキュリティ会社を経て、新日本有限責任監査法人に入所。Forensics事業部のTechnologyチームのジャパンリーダーとしてサイバーインシデントへの対応業務やデジタルフォレンジック業務(eDiscovery等)に従事。また、法執行機関向けのフォレンジック研修の講師も務めている。GCFA、EnCE等の資格を保有。



EY新日本有限責任監査法人
Forensics事業部

マネージャー
一瀬 友祐

サーバへの脆弱性診断やログ解析支援等のテクニカルコンサルティング、各種セキュリティ製品の検証、標的型攻撃訓練など多岐に渡るサービスに従事。また、インフラ管理やISMS管理責任者も担当した経験を持ち、その経験からLinux、Windowsサーバやネットワークに関する知識や技術、組織における情報セキュリティマネジメントに関する知識を習得。

お申込み

下記の項目を記入のうえFAX(092-721-4908)または、ホームページ(<http://www.kerc.or.jp>)からお申し込みください。

会社名・団体名	所属/役職
住所	電話
ふりがな お名前	Email

※このお申込により、全3回のお申込受付となります。

お問合せ先

- **お申込に関するお問い合わせ**
公益財団法人 九州経済調査協会
(担当: 牟田・田中)
電話: 092-721-4909 FAX: 092-721-4908

- **セミナー内容に関するお問い合わせ**
以下のメールアドレスまでご連絡ください
Email: Forensics.cyber@jp.ey.com

※ご記入いただいた個人情報は、公益財団法人九州経済調査協会が責任をもって管理し、当ワークショップの運営に関わる事務に利用させていただくほか、共催社のEY新日本有限責任監査法人およびEY Japan *1 で共有させていただき、今後開催する講演会・セミナー等のご案内をさせていただく目的以外には使用致しません。

*1 www.eyjapan.jp/about-us/index.html